

## 全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会 湯沢砂防事務所の工事が「有益な取組事例」として表彰を受けました

6月9日(金)に開催された、「令和5年度 全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会」※にて、砂防工事における働き方改革の有益な取組事例として、湯沢砂防事務所の「二子沢下流砂防堰堤その4外工事・二子沢地区ヤード整備外工事」の受注者（株）笛田組が表彰されました。

今回、表彰された受注者は、二つの近接する工事現場で、さまざまなIT技術を活用し既存の方法でも工夫を行い、作業の効率化・事故防止を図ったほか、週休二日の確保など砂防工事における働き方改革としても、有益な取組を実施したことが評価されました。

※「全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会」は、平成8年に長野・新潟県境の蒲原沢で発生した土石流災害を契機に、施工条件が厳しい砂防工事における安全対策等の取り組み成果を広く共有し、安全施工に関する技術の研鑽を図るものとして、土砂災害防止月間である6月に毎年開催されております。



・コンクリート養生用に水タンクと散水ホースによる簡易散水装置を設置することで、休日の現場作業を削減し働き方改革を実現

・車両管理システムを導入することで、道幅が狭い箇所での大型車すれ違いを抑制し事故防止及び待機時間削減による効率化を実現



拠点から50km圏の車両管理

別工事車両を一括管理



松本事務所長

(株)笛田組  
株特例監理技術者